

○ 漁やようしょくのしごと

◎ 漁やようしょくのしごとでは、どんなくろうがあるのでしょうか。

漁をするおじさんのほなし

夜は、だいたい9時ごろにねます。朝の5時ごろ漁にでるときはまだいいのですが、真夜中の1時ごろ漁にでることもあります。そういう日がつづく、すいみん不足で事故がおきやすくなるので、とくに注意してふねを運転しています。また、海があれば、何日も漁にでれないので本当にこまります。むかしは、漁をする場所を遠くの山やりく地のようすで見つけていました。今はきかいが見つけてくれるのでまちがいはほとんどなくなりました。



ばしよ



ホッキ漁のようす



のりようしょくのようす

のりのようしょくをするおじさんのほなし



うみのしごとは、自然が相手なのでとてもくろうしています。その年の天こうによってのりのせいちょうがちがい、さむい夏だとのりのせいちょうもあまりよくありません。さぎょうは、しおがひいたときにおこないます。あみをひろげたりするときなどは、こしまで海にはいってしごとをします。のりをつみとるときには、みなさんの家にあるそうじきになたきかいをつかってすいとっていくんですよ。